

専 門 教 養
令和 8 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
小・中学校共通 美 術
中・高等学校共通 美 術

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、11ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

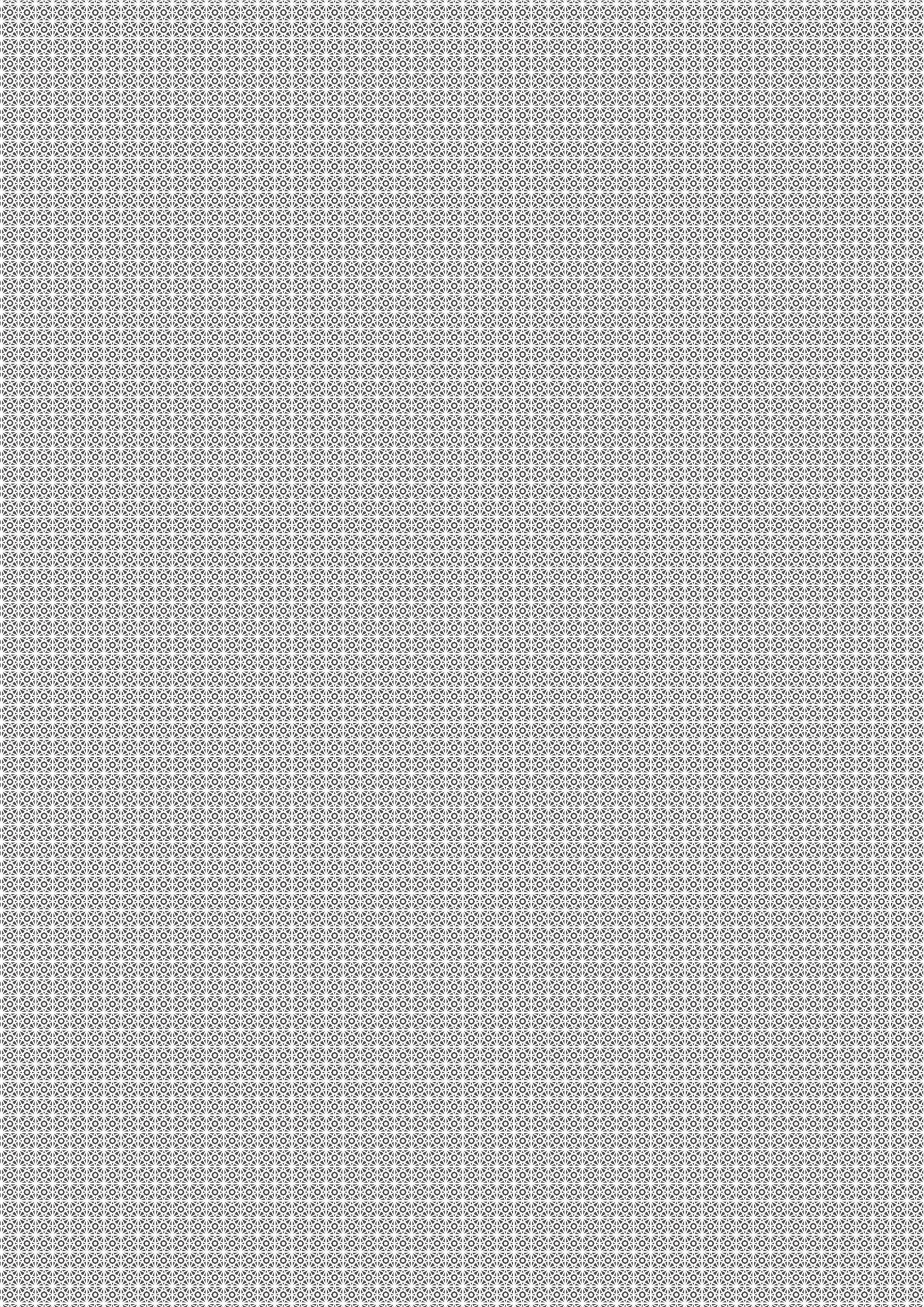
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1 。」と表示のある問に対して、**3**と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答 番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



問題中に示した図については、特にことわりがなくても、原作となる作品の一部である場合や、必要に応じて部分的に修正を加えてある場合がある。

1 次の各問に答えよ。

〔問 1〕 アクリルガッシュ絵の具に関する記述として適切なものは、次の **1**～**4** のうちのどれか。

解答番号は **1**。

- 1** 膠を展色剤とし、顔料と膠を混ぜて使う。顔料によって種類が分かれ、鉱物を砕いた岩絵の具や、黄土などの天然土からつくった水干絵の具がある。
- 2** 主な成分は、顔料とアラビアゴムとグリセリンである。透明感があり、色を重ねた時、後から塗った色を通して下の色が見える。
- 3** アクリル樹脂を展色剤とし、紙の他に、ガラスや布にも描くことができる。不透明感が強く、塗りムラの少ない仕上がりになる。
- 4** 顔料と乾性油で作る。光沢と透明感があり、乾燥に時間がかかるが、堅牢で耐久性に優れている。

〔問 2〕 次の記述 **ア**～**ウ**は、それぞれ下の彫刻の技法 **A**～**C** のいずれかに関するものである。

ア～**ウ**と、**A**～**C**との組合せとして適切なものは、下の **1**～**4** のうちのどれか。解答番号は **2**。

- ア** キャスティングともいい、型を制作し、溶かした金属やプラスチックなどの液状の物質を、その型に注ぎ込み、作品を造形する方法である。ブロンズ彫刻が該当する。
- イ** カービングともいい、木や石などを彫り出して作品を造形する技法である。素材を削って減らして造形を行う木彫や石彫が該当する。
- ウ** モデリングともいい、粘土や蠟など可塑性のある素材を盛り上げたり、付け足したりして表現する技法である。粘土を用いた制作方法であるテラコッタが該当する。

- A** 彫造
B 鑄造
C 塑造

- | | | | |
|----------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1 | ア － A | イ － B | ウ － C |
| 2 | ア － B | イ － A | ウ － C |
| 3 | ア － B | イ － C | ウ － A |
| 4 | ア － C | イ － A | ウ － B |

〔問 3〕 絵画の表現技法に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 スカンブリングは、絵の具の厚塗り、あるいは盛り上げのことであり、油絵の具やアクリル絵の具を厚く盛り上げるように塗る技法である。
- 2 キアロスクーロは、下塗りの色がとぎれとぎれに見えるように、下塗りの色の上から不透明な色を薄くかける技法で、ヴェラチューラとも呼ぶ。
- 3 インパストは、明暗法ともいい、光と深い陰影の明暗を対比して描く技法である。
- 4 グレーズは、油彩画の技法で、透明または半透明に薄めた絵の具を、ほかの絵の具層の上に塗り重ね、色彩に深みと輝きを与える技法である。

〔問 4〕 我が国の伝統工芸に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 大館曲げわっぱは、天然秋田杉を柾目で木取りした板を熱湯で煮て、板が柔らかくなったところで曲げ、木ばさみで固定して自然乾燥させる。乾燥後、接合部分をぬいとめて完成させる。
- 2 南部鉄器は、組み立てた鋳型と中子のあいだに、とかした鉄をひしゃくで注ぎ込む。鉄が固まる前に鋳型と中子を取りはずし、製品を取りだす。その後、さび防止のため、炭火で焼く金気止めを行う。
- 3 江戸切子は、ダイヤモンドホイールを使い、荒ずりの工程でガラスをけずり、磨きの工程でより細かいカットをほどこす。その後、砥石を使った石掛けの工程でカットした面をなめらかにし、三番掛けの工程で表面を磨き、輝きをだす。
- 4 鎌倉彫は、鎌倉時代に中国から伝わった工芸品の影響を受けて仏具などに彫刻と漆をほどこしたのが始まりとされる。木地はホオを使用するが、カツラは使用しない。彫刻刀で木地に刀痕をほどこして漆を塗り、マコモ粉をつけて磨く。

〔問 5〕 次の作品に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

5。

- 1 オランダのヘリット・トーマス・リートフェルトの「赤と青の椅子」である。
- 2 ドイツのミヒャエル・トーネットの「No.14」である。
- 3 デンマークのアルネ・ヤコブセンの「アントチェア」である。
- 4 イギリスのチャールズ・レニー・マッキントッシュの「ヒルハウス 1」である。

〔問 6〕 焼き物に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

6。

- 1 炆器は、原料には粘土があり、700℃から900℃で焼成する。釉薬をかけないで焼いており、主な例として縄文土器がある。
- 2 陶器は、原料には陶土があり、1200℃から1300℃で焼成する。釉薬をかけないものが多く、主な例として備前焼がある。
- 3 土器は、原料には陶土があり、1100℃から1300℃で焼成する。釉薬をかけるものが多く、主な例として萩焼がある。
- 4 磁器は、原料には陶石があり、1300℃から1400℃で焼成する。釉薬をかけて焼いており、主な例として九谷焼がある。

〔問 7〕 次の記述は、ある染物に関するものである。この染物の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 7。

琉球王国時代に発達した沖縄を代表する染物の総称であり、鮮やかで美しい色合いが特徴である。型染を用い、植物染料と強い日差しでも色あせしにくい顔料とで細かな彩色が施されている。

- 1 紅型
- 2 加賀友禅
- 3 有松・鳴海絞
- 4 江戸更紗

〔問 8〕 映像史に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 8。

- 1 イギリスで生まれアメリカで活躍した写真家アタナシウス・キルヒャーは、1870年代に複数のカメラを一行に並べて動物の運動を連続写真に収めることに成功した。
- 2 1834年にイギリスのウィリアム・ジョージ・ホーナーによって発明されたゾーイトロープは、回転する円筒につけられたスリットから内側に描かれた絵を眺めると、連続して描かれた絵が動く映像のように見えるという装置である。
- 3 フランスのリュミエール兄弟によって、19世紀末に発明されたキネトスコープは、撮影・映写・ポジの焼付を1台で行うことができた。
- 4 ドイツのイエズス会神父のエドワード・マイブリッジが出版した「『光と影の大いなる術』第2版」で紹介されたマジック・ランタンは、スライドに描かれた絵や写真をレンズを通して拡大し、投影する装置で、17世紀に発明された。

〔問 9〕 のこぎりの使用に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 のこぎりはひく時に切れるので、ひく時に力を入れて、押す時は軽く戻して、先端のみを使って切るようにする。
- 2 のこぎりをひく角度は、一般的には硬材では角度をやや小さく、軟材では角度をやや大きくしてひくようにする。
- 3 のこぎりをひく時は、柄尻に近い方を持つようにし、のこ身を真横から水平に見ながら切る線に沿って切り進めていく。
- 4 のこぎりを使って切る時、手や足で押さえにくい形や小さい木材は、万力やクランプなどで固定する。

〔問10〕 フレスコの技法で描かれた作品として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

1

2

3

4

〔問11〕 次の作品の作者として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

11

 。

- 1 ヴィジェ＝ルブラン
- 2 メアリー・カサット
- 3 ジャン・デュビュッフエ
- 4 ジュゼッペ・アルチンボルド

〔問12〕 次の作品の作者に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 12。

- 1 1864年に生まれたフランスの画家で、パリでコルモンに師事した。我が国の浮世絵の影響を受け、石版によるポスターを制作した。代表作に、「ムーラン・ルージュにて」や「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」などがある。
- 2 1848年にパリで生まれたフランスの画家で、船乗りを経てパリで株式仲買人となった。ピサロと知り合い、印象派の影響を受けた。代表作に、「タヒチの女たち」、「マルティニック島の情景」などがある。
- 3 1840年に生まれたフランスの画家で、少年時代をル・アーヴルに過ごし、ブーダンに師事した。我が国の浮世絵の愛好家で、その影響を受けた。代表作に、「睡蓮」、「サン＝ラザール駅」などがある。
- 4 1853年に生まれたオランダの画家である。ミレーの感化の下に農民画から出発した。パリで印象派、新印象派及び我が国の浮世絵の影響を受けた。代表作に、「ひまわり」、「日本趣味・雨の大橋」などがある。

〔問13〕 武者絵として適切なものは、次の 1 ～ 4 のうちのどれか。解答番号は

13

 。

1

2

3

4

〔問14〕 我が国の伝統色に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 14。

- 1 菫色は、菫の花のようなあざやかな青紫色で、明治時代以降は英語の「バイオレット」の訳語になった。
- 2 小豆色は、小豆の実のような灰みをおびた青緑色で、古代から魔除けの色とされたが、色名として用いられるようになったのは江戸時代になってからといわれる。
- 3 青磁色は、青磁の肌色のような明るい薄青色で、神秘的な美しさであることから、秘色とも呼ばれる。
- 4 露草色は、夏の早朝に咲く露草の花のような茶みがかった赤紫色である。露草は、花や葉の汁で布を摺染したことから「着き草」の古名をもつ。

〔問15〕 バロック彫刻に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 15。

- 1 ジャン・ロレンツォ・ベルニーニの「ピエタ」は、木で作られている。
- 2 マルティネス・モンタニェスの「聖テレサの法悦」は、大理石で作られている。
- 3 ステファノ・マデルノの「聖チェチリア」は、大理石で作られている。
- 4 グレゴリオ・フェルナンデスの「慈悲のキリスト」は、木で作られている。

〔問16〕 我が国の彫刻家に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 16。

- 1 平櫛田中は、鎌倉時代の仏師で、代表作に東大寺の「金剛力士立像」などがある。奈良県にある円成寺の「大日如来坐像」は、最も初期の作品である。
- 2 高村光雲は、岡倉天心や西山禾山の影響を受けた。代表作に「鏡獅子」などがある。
- 3 円空は、各地を巡歴し、「円空仏」を残した。代表作の「十一面観音菩薩立像」は、一本の丸太を三つに割って彫り出した三体の像の一つである。
- 4 運慶は、木彫技術に洋風彫刻の写実性を加えた。代表作に「老猿」がある。

〔問17〕 次の建築物に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

17。

- 1 サモス島のヘラ神殿である。
- 2 デルフォイのアポロン神殿である。
- 3 オリンピアのゼウス神殿である。
- 4 アテネのパルテノン神殿である。

〔問18〕 次の建築物として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 18。

- 1 国立新美術館
- 2 旧岩崎家住宅
- 3 旧帝国奈良博物館本館
- 4 日本銀行本店本館

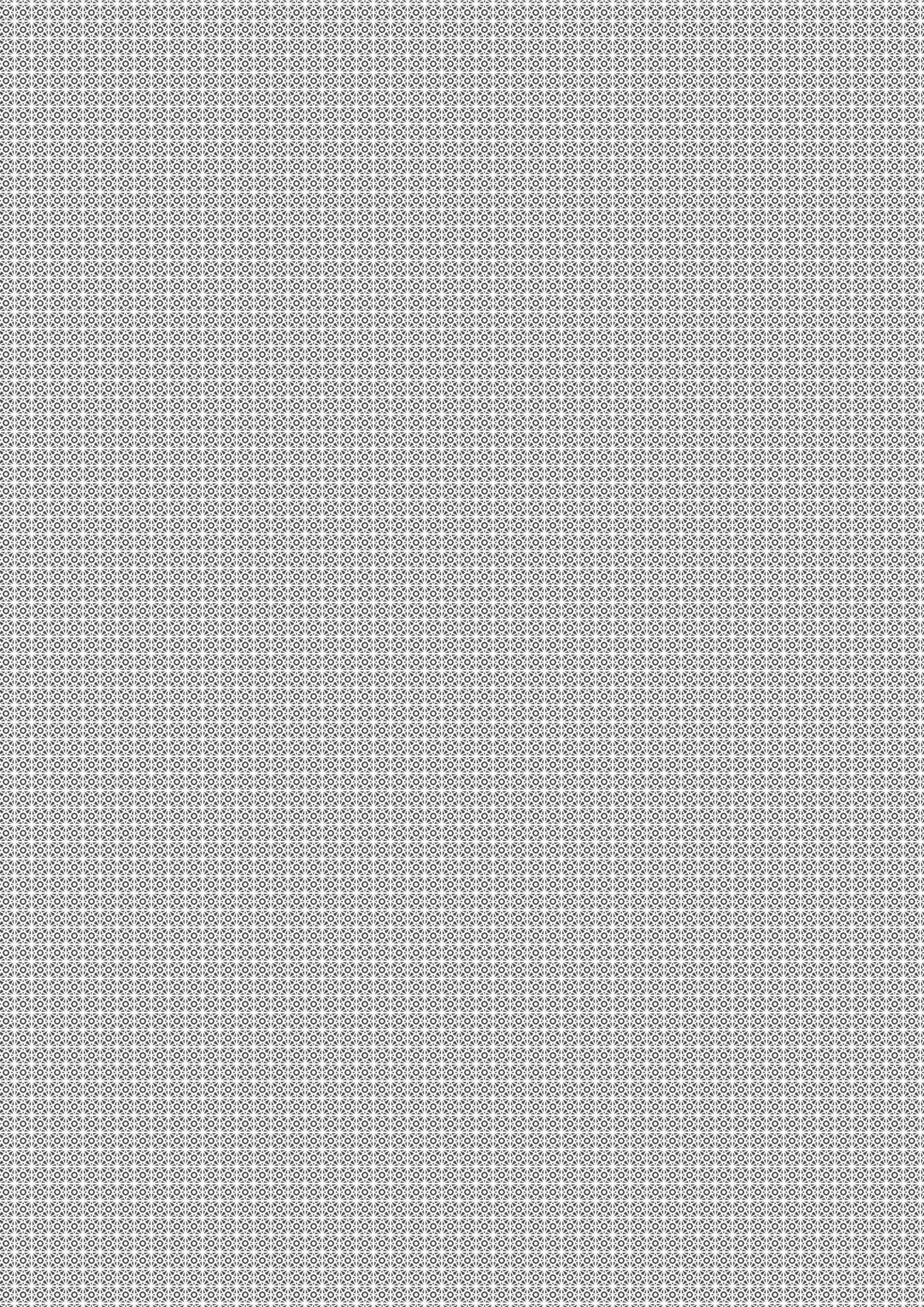
〔問19〕 次の記述は、我が国の美術教育に携わったある人物に関するものである。この人物として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 19。

1882年、愛知県に生まれる。桜井暁雲に木口木版を学び、東京美術学校を卒業した。フランスに遊学し、帰国の途次、ロシアの農民美術に啓発され、長野県に日本農民美術研究所を設立した。また、自由画運動を提唱した。

- 1 北川民次
- 2 黒田清輝
- 3 岸田劉生
- 4 山本鼎

〔問20〕 中学校学習指導要領美術の「各学年の目標及び内容」の〔第1学年〕の「内容」の「A 表現」において、発想や構想に関する資質・能力を育成するために、絵や彫刻などに表現する活動を通して身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。
- 2 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。
- 3 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- 4 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号(－)が入ります。次の(1)～(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1～9、0の数字又は符号(－)のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答 番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答 番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、 2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。